

事務局だより 第1号

2006年 1月
農業協同組合研究会 事務局

豪雪の年となりました。

被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

「明けましておめでとうございます。」とは 申し上げにくい新年ですが、「明るく」「温かい」年にしたいものです。

「事務局だより」は、第1号として出発いたします。

(昨年 準備号として2回発行しましたが、いよいよ本番というところです。)

会員の皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

どうぞ よろしく。

<目 次>

= 巻頭言 = “ 今の農政を信頼しているか ”

農業協同組合研究会 会長 梶井 功
..... 2ページ

総会 シンポジウム 研究会のご案内 3ページ

ホームページ 開きました。 5ページ

= 巻頭言 =

農業協同組合研究会 会長 梶井 功

“ 今の農政を信頼しているか ”

「信頼している 8%」「信頼していない 43%」「どちらとも言えない 48%」

これは冒頭の質問に対する全国のJA組合長の答である。日本農業新聞が昨年暮れに行ったアンケートの結果だが、実に憂慮すべき数字ではないか。同アンケートには、今、農政が最大の課題としている品目横断的な経営安定対策について、これを“評価するか”という項目もあったが、その回答は「評価する 14%」「評価しない 36%」「どちらとも言えない 48%」だった。

経営安定対策については、その「大綱」は行政、与党、そして団体も入った三者合意で昨年末つくられた、と私たちには伝えられている。団体が合意した上で、ということだから、この施策を「評価する」派がJA組合長さんたちの多数派と考えていたのだが、そうではないのである。問題だと思う。

昨年末、「大綱」が合意されたその裏には規制改革会議が掲げた信用・共済両事業分離論があったという。JAの総合農協としての存立を危うくするこの分離論を規制改革会議が持ち出さないようにするためには、団体に不満はあっても早急に経営安定策をまとめる必要があったというのである。そういうことで、不満を持ちながら合意した対策で本当に日本農業は、そしてJAは強化されるのだろうか。8%の組合長さんしか今の農政を“信頼”しないのも、そういう危惧を多くの組合長さんが持っているからであろう。

どうしたらいいか、研究会で皆さんと一緒に考えていきたい。研究会への積極的な御参加、そして活発な御発言を皆さんにお願いしたい。(了)

= 総会 シンポジウム 研究会 のご案内 =

(速報です。詳細は 改めてご案内いたします。)

4月15日(土)に 東大 弥生講堂で

第2回総会と第3回シンポジウム

を開催します

日時: 2006年 4月15日(土) 13時30分~

場所: 東京大学 弥生講堂

今年は、10月に第24回農協大会が開催されます。

様々な形で、農業協同組合運動の抜本的な見直し、再構築が求められている状況の中で農業協同組合は何をなすべきか それに答えることがこの大会の課題でしょう。

シンポジウムでは、この農協大会の「議案」に、多方面から検討を加えたいと思います。

詳細が決まり次第改めてご案内申し上げますが、**日時、場所は確定**ですので皆様の日程表に **4月15日「出席」**と記入しておいて頂きますよう、お願いします。

3月11日(土)に

理事会と第3回課題別研究会 を 開催

課題別研究会のテーマは 前回に引き続き「米」

日 時：2006年3月11日(土)

時 間：理事会 11時から

研究会 13時から

場 所：日本橋公会堂(中央区日本橋蛸殻町)

研究会

今回は全農の米事業改革について 米本常務にお話し頂きましたが、次回第3回研究会では、卸・小売り段階の現状・課題などの検討を進めたいと考えています。

講師は、木徳神糧株式会社 木村 良社長です。

なかなかお聞きできない「お話」を、して頂けるのではないかと大いに期待しています。

理事会のメインテーマは、「来年度の研究会の活動方針案」
理事・監事の皆様のご出席準備をお願いします。

研究会のホームページを開設しました

12月14日に、研究会のホームページを開設しました。

このホームページをご覧頂くには、まず「JAcom 農業協同組合新聞」のホームページを開いてから、 = 農業協同組合研究会 = (ちょっと小さなタイトルです) をクリックしてください。

まだ、皆様からの「反応」が ごくわずかしか ありません。

どんどん、ご意見をいただきますよう お願いします。

